

平成29年度第1回大和市総合教育会議議事録

- 1 日 時 平成29年5月17日（水） 9時30分～10時15分
- 2 場 所 大和市役所 5階 全員協議会室
- 3 出席者 市長 教育委員会（柿本教育長、青蔭教育長職務代理者、石川委員、鈴木委員、小松委員）
市職員（政策部長他10名）
- 4 傍聴人 1名
- 5 議 題 （1）平成29年度の教育大綱関連事業について
- 6 資 料 ・ 次第
・【資料1】教育大綱関連事業一覧
・【資料2】平成29年度の教育大綱関連事業について
・【資料3】教育大綱

【会議要旨】

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 議題
(1) 平成29年度の教育大綱関連事業について
事務局及び所管部：（資料1～資料2について説明）

教育委員：施策「子どもの健やかな成長に向けた切れ目のない支援を推進します」に関して意見と質問をさせていただく。

民間保育所建設・増設支援事業に関して、社会的に待機児童問題が注目されているなか、大和市が2年連続で保育所入所待機児童数ゼロを達成したことは評価できるものである。今後も、地域性によるニーズに応えながら継続していくことを熱望する。

子育て支援施設管理運営事業に関して、保護者の就労時間は、子どもを預けられる時間と必ずしも一致している訳ではないため、送迎ステーションは、働く保護者にとって大いに期待されるものと思う。期待に応えられるよう実施に向けた準備を進めていただきたい。

子育て世代包括支援センター事業に関して、子育て中の保護者は様々な不安をかかえていると思うが、必要な情報収集などに時間を割くことができない状況や相談相手が身近にいないことが考えられるので、「大和市子育て何でも相談・応援センター」が効果的に支援していくことを期待する。

本市では、保育サービスの情報提供を行う専門の相談員として、保育コンシェルジュを配置しているが、新たに取り組む「大和市子育て何でも相談・応援センター」との関係性と、同センターの取り組みについて伺いたい。

所管部 : 保育コンシェルジュについては、委員のおっしゃるとおり、保育サービスの情報提供を行う専門の相談員として配置している。今年度から開設した「大和市子育て何でも相談・応援センター」は、妊娠前、妊娠期から子育て期にわたるまで、切れ目のない相談支援体制のさらなる充実を目指しているもので、子育てに悩んだらここに相談というワンストップ相談窓口として、相談員や保健師が電話・窓口で対応するもの。具体的な取り組み内容は、母子手帳の交付時に保健師が面接を行い、必要に応じて支援プランを作成したり、心配な妊産婦については定期的な連絡を行う。また、市内には、子育て支援センターやこども～など、気軽に相談できる場所が数多くあるが、それぞれの相談機関同士が顔の見える関係を築くネットワーク会議を実施する。保育コンシェルジュとの関係性については、コンシェルジュが保育サービス以外の相談を受けた際に、「子育て何でも相談・応援センター」の窓口につないだり、情報を共有することで連携を図ることなどを想定している。

教育委員 : 施策「健康に関する教育を推進します」の妊産婦・新生児等訪問事業に関して意見と質問をさせていただく。相談機関等へ行きたくても出産前後や月齢の低い乳児を連れて外出することに不安を感じる保護者は少なくないと思う。そのような時期にも、安心して子育てができるようになることを期待する。今まで赤ちゃん訪問を実施してきたなかで、再訪問が望ましいケースはどのような問題を抱えていたか。また、どのように対応してきたか伺う。

所管部 : 赤ちゃん訪問の後に再訪問が望まれるケースとしては、赤ちゃんの成長が緩やかなために再度、保健師や助産師の家庭訪問による確認を必要とする場合や、母親の育児不安やマタニティブルーなど、心身の健康状態が不安定なために経過観察を行うものがある。こうした場合、必要に応じて医療機関への受診勧奨を行うほか、ファミリーサポート事業や一時保育事業などサービス利用のコーディネートを行っている。なお、こども部では相談機関へ出向くことが難しい方のために「子育て何でも相談・応援センター」において電話相談に応じるほか、家庭訪問による相談も行っている。

教育委員 : 施策「夢や目標に向かってたくましく生きる子どもを育てます」の学力向上対策推進事業に関して意見を述べさせていただく。学校教育における大きな役割の一つとして、子どもたちに一定の学力を保証する役目がある。本市の子どもたちが将来自らの夢に向かって進んでいくため、学力向上について、各小中学校の教員が継続的に努力をしているが、はっきりとした結果に結びつけること

は難しく、教育委員会と学校が協力し検討と検証をしていくことが必要である
と考える。また本市では、独自の取り組みとして、小学校全校で「放課後寺子
屋やまと」「夏休み寺子屋やまと」を開催し、子どもたちの学習支援を行ってき
ており、多くの子どもたちが進んで学習する姿が見られる。中学校においても、
授業中及び放課後の学習支援を全校に導入したので、今後の成果に期待する。
また、学力向上を目指すには、教員の指導力向上も重要であり、コーディネ
ーターによる若手教員への指導を行っている。これらの施策を丁寧に行き続け
ることが、本市の児童生徒の学力向上につながっていくと考えており、今後も課題
を精査しながら進めていきたいと思う。

教育委員：施策「国際社会での活躍の礎となる英語力や国際感覚を育みます」の英語教育
推進事業に関して意見を述べさせていただく。学習指導要領の改訂による小学
校での英語の教科化に先立ち、本市では、英語教育推進事業により、英語教育
への取り組みを行っている。外国語活動指導助手による生の外国語に触れるこ
とは、コミュニケーション能力を高めると考えており、各学校においても、教
育課程の工夫により時間を生み出し外国語活動を実施し、子どもたちが英語に
慣れ親しむよう努力をしており、生きた英語、使える英語が身につくことを期
待している。今年度は事業の2年目となるが、3カ年の取り組みの最終年度に
向けて、子どもたちに英語力が身につくよう、これからも様々な工夫をしてい
きたいと考えている。

教育委員：施策「時代に即した先進的な情報教育を実施します」の教育用コンピュータ整
備事業に関して意見を述べさせていただく。各小中学校へ支援員を配置するこ
とは、実際に教育用コンピュータ等を活用するにあたり、教職員の仕事の効率
化及び授業の円滑化が図れると考えている。小中学校のプログラミング教育は
新たな分野であり、身近な生活の中で多くのコンピュータが使われていること
や、プログラミングの基礎などについて、本市の子どもたちにとって充実した
学びとなるよう、教員の研修がより一層重要となる。また、現在のネット社会
においては、判断を誤れば誰しもが加害者にも被害者にもなり得る。学校や家
庭が子どもたちとともに情報モラルについて考え、子どもたちが適切に判断で
きる能力を身につけられるよう支援していきたいと考えている。

教育委員：施策「創意に満ちた活力ある教育環境を整えます」に関して意見を述べさせて
いただく。本市の学校は昭和40年から50年に建てられたものが多く、校舎
そのものが老朽化してきていることから、大規模改修工事を行い、安心して安
全に学校へ通えるよう、現在、計画的に整備を進めている。一方、北部は人口
が増加している状況であり、増築等の適切な学校環境の整備に努めていく必要
がある。いずれにしても、学校施設の整備には、多くの事業費を要するため、
今後も必要な予算措置をお願いしたい。

教育委員：施策「いじめ・不登校問題の解消に真摯に取り組みます」に関して意見を述べさせていただく。いじめ・不登校等対策事業においては、いじめの未然防止・早期発見・早期対応の意識が高まるよう、指導室が、児童生徒に向き合う全教員に対して訪問研修を実施しており、さらに今年度は、各学校のニーズに対応する希望研修を予定しているので、実際に学校で有意義に生かされていくことを期待している。

不登校児童生徒援助事業においては、青少年相談室のスクールソーシャルワーカー、心理カウンセラー、相談員が専門性を生かし、学校と連携し、全ての児童生徒が元気に学校へ通えるよう、1人ひとりの子どもに寄り添った支援を充実させていきたいと考えている。

所管部：いただいた意見をもとに、事業をしっかりと推進していきたいと考える。

教育委員：施策「あらゆる世代の知性を高め人生を豊かにする読書活動を促進します」に関して意見と質問をさせていただく。小中学校図書館教育推進事業において、本市では学校図書館のリニューアル、県内初の学校図書館スーパーバイザーと全校への学校司書の配置、図書の入れ替えなど、環境整備と図書の利用促進に取り組んできており、他市と比べても学校図書館の環境は優れている。また、小学校5、6年生、および中学校の各学級への新聞の配架や、平成29年度は学校図書館に検索用パソコンを1台増加するなど、調べる学習を推進している。学力面はもちろんのことながら、社会に対する興味、関心、必要となる情報を自分で収集する力を育てることに役立っていると考えている。

図書館管理運営事業について、北部、中部、南部のそれぞれの地域に図書館を整備していくと聞いており、本市の図書館の一層の充実が期待される。今後、どのように図書館施策を展開していくのか伺う。

所管部：図書館の整備については、平成30年4月1日開館を目指し、東急中央林間ビル3階に中央林間図書館を整備するほか、同日、渋谷学習センター図書室を渋谷図書館に変更し、図書館の3館体制を整える。また、図書館サービスの向上を図るため、返却ポストを現在の6か所に加え、つきみ野、桜ヶ丘、高座渋谷の各駅に設置する。そのほか、大和市と言え「図書館」と言われるような、大和市を象徴する施策となるよう検討していく。

教育委員：施策「市民の豊かな心を育む生涯学習を推進します」に関して意見と質問をさせていただく。文化創造拠点シリウスは、芸術文化ホール、図書館、生涯学習センター、屋内こども広場など、複数の機能が融合した新しいタイプの公共施設で、私としてもオープンを心待ちにしていた。来館者数は、開館から135日目には100万人を超え、年齢を問わず多くの市民が利用しており、今後も、様々な事業

を展開していくなかで、市民に愛される施設になることを期待している。
学習センター施設整備事業に関連して、今後、本市の学習センターは、指定管理者による運営に移行していくと聞いている。市民の利用等について、一層の促進につながればと思うが、指定管理者に替わることで、今後、生涯学習の推進にどのように取り組まれていくのか伺う。

所管部 : 現在、シリアスの生涯学習センターは、指定管理者によって円滑に運営されており、人気の高い講座等も増えている。こうした指定管理者のノウハウを地区館へも導入することで、さらに充実した学習機会の提供が図られると考えている。また、学習センターは生涯学習を通じた地域交流の場、地域づくりの拠点として近隣住民の方々に利用されてきたことから、今後、学習センター全館が指定管理者による運営となっても、これまでの地域密着型の施設運営を維持しつつ、市民ニーズに合わせた学習機会の提供に取り組んでいく。

教育委員 : 平成29年度の教育大綱関連事業は、前年度同様、多くの予算を確保していただき、教育委員として、たいへん感謝している。これらの予算を、教育大綱の基礎となる幼児期から義務教育期、さらに青年成人期への「切れ目ない支援」を推進していくために、大切に使っていきたいと考えている。今後も、大和の子どもたちの成長のために、教育委員会と学校が一丸となって、引き続き教育行政の充実のために、取り組んでいきたいと思う。

4 その他

5 閉会